

デジタル

ポイス

メールでのセリフの現場から

安藤 房子

人間関係をスムーズにするためなら、ちょっとした嘘(うそ)をついてもいいのではないかとと思う。主観、いい嘘とよくない嘘があるのではないかと悩んで、思いやりや優しさからくる嘘はOK、虚栄心や利害がかった嘘はNGではないだろうか。また、誰かを傷つけるような嘘も、もちろんいけない。

たほど、中にはいいのである。こういふ「困った嘘」を平気でつく人が、つい先日、悪意の嘘に傷つけられた女性から相談を受けた。企画書で二十代半ばの彼女は、自分の手柄を上司から奪われてしまったのである。

「私が必死で考えた企画を上司に報告したところ、上司は、自分が考えた企画として上司に報告してしまったのです。上司はそれを、うのみにしてしまっただけ。私の上司は、いわゆる中間管理職、部下からはまったく信頼されていないのですが、ゴマすり上手だから、上からの評価はいいです。」

彼女は「真面目(まじめ)なタイプだったので、パソコンに仕事の履歴をすべて残していた。しかし、ある日見ると、そのパソコンの記録がすべて消えていたのだという。こうなると、「この企画をたてたのは私」という証拠をつきつけることはできない。今回は、泣く泣く権限を管理するしかなかった。今後はパソコンデータのバックアップを二重にとると、防衛策を考えているという。

人はなぜ嘘をつく？ トラブル対策必要

彼女の辛さは、痛いほどよく伝わってきた。それは多分、私も何度か同じような経験をしたことがあるからかもしれない。会社勤め時代に経験したが、独立してからのほうが、嘘つきな「ずるい人」の被害を受けている。もともと信頼していない相手ならまだしも、信頼していた相手からひどい目にあってしまい、人間不信に陥ってしまったこともあった。

さまざまな嘘に接して思うのは、嘘をつく人の中には、現実と理想の境界線が見えなくなっている人が少なからず存在するということだ。自分に都合



や、なんでもかんでも私に「私が」と前に出たがる人。愛憎が大好きな人。実際以上に自分を理想に見せようとする人などの中に、多いものである。むしろ、あなたのまわりにもそういう人がいるときは、大切な話をするときにはいざというときに、第三者になつてくれる第三者を探して話すのがおすすめです。そうすれば、後々「言った、言わない」というトラブルを防ぐこともできる。

また、業務日誌をつけておけば、万一相手が嘘をついて「言った、言わない」ともめたときに証拠として提示することがある。

本日は、出会う人のすべてを信じたいものだ。しかし、なにかの拍子にその嘘が生まれてくる可能性も常に念頭に置いておく必要がある。人間関係をスムーズになると私は感じている。

に忘れてはならない。相手を疑え、というところではないが、無邪気に信じてはかを見るのは自業自得とも言える。過去の自分を振り返りながら、そう思う。

特に、ビジネスシーンでは、相手のいい部分を信じて、万が一のためのリスクマネジメントは講じておく。そのほうが、自分の身を守るだけではなく、相手のことも率直に信用できて、人間関係がスムーズになると私は感じている。

『恋愛カウンセラー・作家 大倉新由』
『毎月第一土曜日に掲載します』